



シャローム shalom

No. 117
2013.05

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



麻酔科、古今東西！

くげ まこと
麻酔科・手術部部長 久下 眞 (写真中央)

京大麻酔学教室に入局して36年。当時の京大病院は、年季が入っており夜中に緊急手術があるとゴキブリはもちろん幽霊に出会えると噂されておりました。正に心霊スポットで仕事をしておりました。当時は全身麻酔を外科医師が担当することもあり、専門の麻酔科医師は少なくその必要性も低いものでした。麻酔科を志望した時、外科医の兄から「麻酔科行って何すんねん、将来性のない科へ行かん」とけ。」とアドバイスされました。しかし教授を中心に先輩達の新しい診療科を作る熱意を快く感じ麻酔科を選びました。

当時は、眠りの深さは瞳孔の大きさ、眼球の動き、血圧の動きなどから判断し、モニタは手動の血圧計、心電図のみでした。よくトラブルもなく麻酔管理が出

来ていたものです。最近は酸素飽和度、呼気二酸化分圧、直接動脈圧、麻酔深度などが容易にモニタでき各種警報機能も充実しました。患者さんの高齢化、重症化、医療の高度化に伴い各種モニタの進歩なくしては安全な麻酔管理は望めなくなりました。

麻酔中いつも不思議に感じるのは眠りです。手術をされていた患者さんが数分で麻酔状態から醒めてしまう、この紙一重とも感じる入眠・覚醒に未だに驚かされます。麻酔学の発展に努力された先人を尊敬するとともに、如何に質の高い眠りを作りだすかをテーマに私自身も努力していきたいと考えています。ただしご希望があってもアルコールは使用いたしません。

かねてより職員から要望があった事業所内保育園の設置の決定を役員会において行い、設置場所、規模、また厚生労働省の施設基準に沿った構造、設備、運営について検討をしました。園児たちの生活環境を重視し、自然に恵まれたなかで日々過ごせるように考えております。「ぶどうの実保育園」という名称は、聖書のヨハネによる福音書15章に由来しています。大きな存在に守られて、子供たちが心豊かに、健全に育つ保育園となる願いを込めています。



年頭より説明会を開催し、多くの職員の方の出席をいただきました。2月より入園申し込みを開始し、無事開園の運びとなりました。園児の安全面に関しては、保育室各部屋に最新のウェブカメラの設置をしており、保護者の方が携帯を使っていつでも園児の保育の様子を確認できるよう配慮をしています。また、園内で快適な生活が送れるよう床暖房、給湯手洗いとし設備面での充実も図っています。

新任ドクター紹介

こばやし かつし
外科副部長 小林 克敏



2013年1月より着任しました外科の小林と申します。消化管外科を中心に今まで診療して参りました。地域に密着したバプテスト病院の一員として貢献したいと思っております。宜しくお願い申し上げます。(2013年1月着任)

Relay Column

バプテストリレーコラム

vol.13 医療団事務部門から

やまもと あつし

医療団総務課 山本篤史



日本バプテスト連盟医療団の事務部門は、日本バプテスト病院を始めとする、医療団に属する各施設に関する医療行為以外の業務を一手に引き受けています。

医療機関といえば主に医務部、看護部、コメディカル部で成り立っていますが、それらの部署は非常に専門性が高く、また患者さんに対する責任の重さから、それぞれの業務に専念していただくべく、総務・経理・人事を始めとする事務部門は「縁の下」から医療団を支えています。

直接患者さんやご家族の方々とお話しする機会もありませんので、当医療団が標榜している「全人医療」に事務部門としてどのように関わっていけるのか、日々考えております。

白衣などではなく普通の服装で皆さんに挨拶をする職員がいれば、それは私共事務部門の人間です。

直接の医療行為は出来ませんが、皆さんが日々健やかに過ごされるよう願う気持ちは同じです。

ボランティアさんからのメッセージ

抜苦与楽に憧れて

しみず こうせい
清水 弘星



2004年からボランティア活動を毎週水曜日に行っています。始めは作業に追われて楽しさを味わう暇も無かったが、僕が楽しく活動しないと患者さんが身構えられる様に感じていました。毎週仲良く出会っていた患者さんに「食べてきたなあ、ニンニクの臭い嫌いや。今日は帰って。」と言われたり、ベッドを起こして欲しいと頼まれ、起こして立ち去ろうとした時にナースから「落ちられたら誰が責任を取るのですか。」と注意されたりとの失敗を繰り返しながら、患者さんやご家族の方に飲んで頂けることが、僕の喜びになっていきました。共に生きる人々の喜びを我が喜びにさせて頂くと、喜びが倍になることを実感しました。共に生きる人々の苦しみを我が苦しみと受け止め関わらせて頂くことで、患者さんやご家族の苦しみや痛みが半減して頂けることを願いながら、活動を続けてゆきたいと思っております。



健康・栄養

第1回 体幹トレーニング ～腰痛予防～

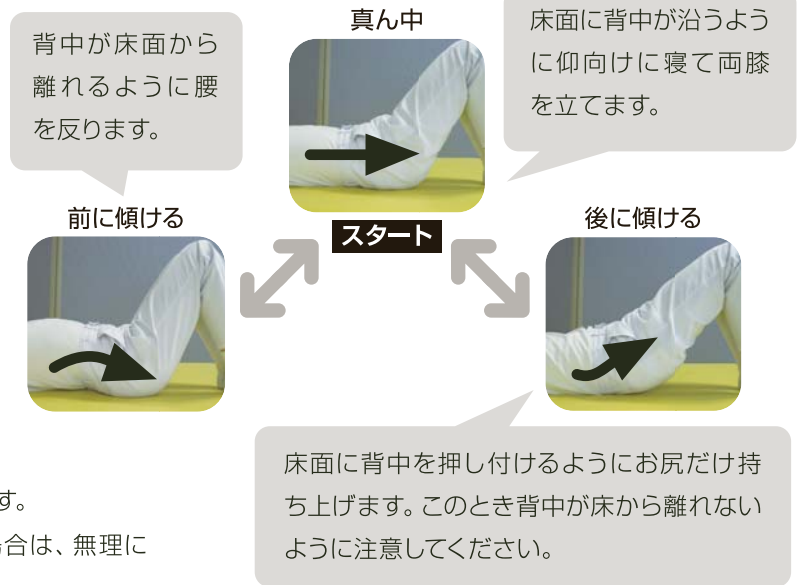
せと たけみ
理学療法士 瀬戸 雄海



腰痛予防にもなるカラダの要である腰の体操を紹介します。

最近では、慢性的な痛みの原因として実際のカラダの動きと自分が思っている動きのズレが痛みを引き起こすと言われていいます。自分が感じているカラダの動きと実際のカラダの動きを比べて、カラダのズレを自分で治していきます。

- ※ ポイントは、大きく前後に動かすことなく、真ん中を意識して自分のカラダを知っていく事です。
- ※ ただし、運動時や運動後、痛みやしびれを伴う場合は、無理に実施しないようにして下さい。



聖書の小道

第7回 「イエスの関心」

確かに言っておくが、
この貧しいやもめは、
だれよりもたくさん入れた。

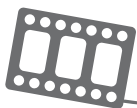
ルカによる福音書
21章3節

みやがわ ゆみこ
牧師・チャプレン 宮川 裕美子



神殿でやもめが二枚の銅貨を賽銭箱に入れたのを見て、イエスはこのように言われました。それはこの貧しい彼女にとって大きな献げ物だったと、そうイエスは弟子たちに告げられました。しかしなぜイエスは、彼女の状況やその行為の意味をこのようにお知りになることができたのでしょうか？

それはイエスが注意深くこの人に目を留めておられたからだと思います。その表情、仕草、格好、携帯品、一緒にいる人達など、この人の存在すべてに最大の関心をもって見つめ、彼女の声にされない思いや心の声に聞いておられたからです。イエスの「関心」が今日のすべての働きに伴いますように。



歴史 HISTORY バプテストの歩み 第1回

1946年春、日本バプテスト基督教目白ヶ丘教会の熊野牧師が戦争のため連絡が途絶えていた米国南部バプテスト連盟宛に、日本にクリスチャンナーズ育成の看護学校の設立と病院の建設の要望を含んだ手紙を出し、この書簡が今日の日本バプテスト病院および日本バプテスト看護専門学校の設立の発端となりました。

同年秋、福岡県の西南学院協会においてバプテスト協議会が開催され、日本バプテスト連盟が結成され、病院設立準備委員会が何度も開催されました。当時の建設候補地は東京だったのですが、それが京都に変更された経緯は次号にて。



イベント報告

日本バプテスト病院
2月 チャペルアワー
オカリナコンサート

2013年2月9日(土)の午後、Sky-Note (Knulp氏&♪まさ氏)を迎え音楽のひと時を楽しみました。土でできたさまざまな大きさのオカリナの演奏に耳を傾け、その優しい音色に会場は穏やかな雰囲気に包まれました。



参加者22名

お知らせ

眼科クリニック
屈折矯正手術(LASIK)説明会

メガネ、コンタクトにかわる屈折矯正手術について詳しくご説明いたします。

開催日時、場所については下記にお問い合わせください。
TEL 075-721-3800 (受付時間 9:00~11:00, 13:00~17:00)
URL <http://www.eye-clinic.gr.jp/>
※ホームページからもお申し込みいただけます。

献金・献品 感謝ご報告 (2013.2.1~2013.3.31) 敬称略

奥田 知子 合田 隆 小林 知賀代
富野バプテスト教会 西南学院バプテスト教会

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133
加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課 電話 (075) 702-5926

イベント予告

病院
チャペルアワー

日時: 2013年7月24日(水) 15:15~15:40
出演: ノートルダム女学院父母の会コーラスクラブ
会場: 病院3階チャペル

※催しは都合により中止・変更になる場合があります。
また、ご入院中の方のみの参加にさせていただく場合もあります。
ご了承ください。

お知らせ

訪問看護ステーション
活動の一時休止について

バプテスト訪問看護ステーションは、1995年の開設以来18年にわたり多くの皆様にご利用いただきまいましたが、今般、諸般の事情により2013年3月末日を持ちまして一時休止をさせていただくことになりました。

現在ご利用中の利用者さん及び関係諸機関の皆様には多大なご迷惑をお掛けすることとなりますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
なお、今後もバプテスト連盟医療団として地域包括ケアシステムの構築に参画し、地域の皆様に貢献できるよう訪問看護ステーション再開に向けて準備しております。

再開の暁には倍旧のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

編集 後記

今号より「シャローム」をリニューアルしました。いかがだったでしょうか? 「シャローム」は、京都府内の病院以外にも、教会施設にも配付しています。少ない紙面ですが、幅広い内容を盛り込むことができるよう工夫しました。今まで以上に、バプテスト病院を知ってもらえるよう、また、興味を持っていただける記事を提供したいと考えています。これからもよろしく願います。(I. T)

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.117 2013年5月発行

発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/代表理事 山岡義生 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト眼科クリニック <http://www.eye-clinic.gr.jp/>

バプテスト訪問看護ステーション <http://www.jbh.or.jp/sisetsu/houmonkango.html>

バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック <http://www.jbh.or.jp/bhh/>

日本バプテスト看護専門学校 <http://www.jbsn-kyoto.com/>